

「ある和歌の歌人や出典が知りたい」など、当館では和歌に関するご質問が多く寄せられます。そこで探し方の一助として主な資料に簡単な解説のコメントをつけてご紹介いたします。特に表記のない資料は、館内閲覧のみとなっており、**本館3F**にございます。閉架資料をご希望の方は、職員までお申し付けください。ご不明な点につきましては、司書までお気軽におたずねください。

■和歌の総合的辞典類■

<p>『和歌文学大辞典』 (伊藤嘉夫他編 明治書院 1962年) &lt;911.103/13/1&gt;</p>	<p>古代から昭和30年代前半までの和歌に関する総合的な辞典。配列は五十音順。巻末に総合索引、難訓索引、文献目録、歌碑現在目録等がある。</p>
<p>『和歌大辞典』 (犬養廉他編 明治書院 1986年) &lt;911.103/12&gt;</p>	<p>上代から近世までの和歌に関する総合的な辞典。項目の配列は五十音順で、各項目には参考文献がある。巻末に年表および叢書収録歌書一覧がある。</p>

■和歌の索引類■

<p>『新編国歌大観』 (「新編国歌大観」編集委員会編 角川書店 1983~1992年) &lt;911.108/2A/1-1~10-2&gt;</p>	<p>「万葉集」から近世までの和歌を網羅的に収録。各巻は歌集・索引の2冊からなり、索引は歌の第二句以降の句からも検索できる。全巻にわたる総索引はない。</p>
<p>『日本名歌集成』 (秋山虔他編 学燈社 1988年) &lt;911.109/1&gt;</p>	<p>日本の名歌を上代から近世までは歌人の活動順、近代については生年順で構成。一首ごとに歌意と鑑賞がある。巻末に「収集歌人解題・索引」「掲出歌索引」「収集歌書解題」がある。</p>
<p>『典拠検索新名歌辞典』 (中村薫編 明治書院 2007年) &lt;911.103/6A&gt;</p>	<p>上代から近世までの名歌約8千首を五十音順に配列。出典作者を明示し、その歌が引用されている文献名を記載。掲出典籍は明治以前のものに限っている。</p>
<p>『物語和歌総覧』索引編 (久曾神昇他編 風間書房 1976年) &lt;911.108/16/2&gt;</p>	<p>本文編は平安時代から江戸初期までの物語中の和歌を「創作物語」「物語歌集」「御伽草子」の三部構成で収録。索引編は本文編の和歌の全句索引となっている。</p>

■作品辞典・鑑賞辞典類■

<p>『和歌鑑賞辞典』 (窪田章一郎他編 東京堂出版 1970年) &lt;911.103/3&gt;</p>	<p>古代から近世までの秀歌ならびに歴史的に著名な人物の和歌を作者五十音順に並べ鑑賞した辞典。作者未詳歌・よみ人知らずの歌なども収録。巻末に「和歌用語」「和歌鑑賞参考文献」「初句索引」等がある。</p>
<p>『通解名歌辞典』 (武田祐吉・土田知雄著 創拓社 1990年) &lt;911.10/5&gt;</p>	<p>上代から近世までの名歌約3千首を五十音順に配列し通解。「和歌全句索引」「人名索引」のほか、資料として「主要歌書解題」「主要歌人略伝」「和歌史概説」「歌人系譜」等がある。</p>
<p>『歌語例歌事典』 (鳥居正博編著 聖文社 1988年) &lt;911.107/26&gt;</p>	<p>和歌中の歌語(見出し語)を「自然」「動物」「植物」「人とからだ」「こころと恋」「人生と生活」「文化・宗教・社会」「歌枕と地名」の8分野、94セクションに分類。歌語ごと例歌を時代順に掲載。</p>

『名歌名句大事典』 (久保田淳・長島弘明編 明治書院 2012年) <911.1/213>	約 5 千首の和歌・短歌・俳句等を季節や生活等に項目分けした文学鑑賞事典。巻頭に「全歌全句索引」「事項索引」、巻末に「作者略伝」「短詩型文芸年表」がある。
『日本歌語事典』 (佐佐木幸綱他編 大修館書店 1994年) <911.10/25>	古今の短歌作品延べ 3 万首の中から、歌語 1 万 3 千語を五十音順に配列。巻末に「歌語索引」「歌語逆引き索引」「収録歌人生年一覧(近世以降)」がある。
『三省堂名歌名句辞典』 (佐佐木幸綱・復本一郎編 三省堂 2004年) <911.1/142>	「和歌・短歌編」と「俳諧・俳句編」の 2 部構成。和歌・短歌・歌語は 3221 首で時代別作者別に編集されている。巻末に「短歌・俳句史年表」「歌・句索引」「人名索引」がある。
『和歌の歌枕・地名大辞典』 (吉原栄徳著 おうふう 2008年) <911.1/190>	「歌枕」・「地名」の表記の正誤や比定地・用法などを検証。巻末には「歌枕・地名総合一覧と索引」「律令制による国・郡域(付駅家)地図と平成大合併後の都・道・府・県の市・町・村域地図」等がある。
『歌ことば歌枕大辞典』 (久保田淳・馬場あき子編 角川書店 1999年) <911.1/35>	古典和歌に使われた「語」を「歌枕・名所」「歌題・題材」「それ以外の語」に分類し、引用和歌とともに解説。「語」は歴史的仮名遣いによる五十音順で配列されている。
『図説・和歌と歌人の歴史事典』 (井上辰雄著 遊子館 2010年) <911.1/201>	神話上の人物を含む 170 人の歌人の代表歌を、時代背景を織り交ぜながら解説。下段に人物の略歴、肖像画、関係図版等を掲載。巻末に収録和歌の著作ごとの五十音順索引がある。※貸出可

## ■現代語訳のある文学全集類■

『新編日本古典文学全集』 (小学館 1994～2002年) <918/102/1～88>	和歌は下段に現代語訳(詞書も含む)がある。作品理解のための頭注と現代語訳の後ろに鑑賞批評がある。歌集・句集を収録した各巻に、初句索引がある。※貸出可
『新日本古典文学大系』 (岩波書店 1989～2005年) <918/20/1～100>	和歌(詞書部分除く)は脚注に大意、語句の注、参考事項が示されている。歌集・句集を収録した各巻に初句索引がある。※貸出可
『新潮日本古典集成』 (新潮社 1976～1989年) <918/16/1～86> (閉架資料)	和歌は上段に色刷りで現代語訳がある。歌集・句集を収録した一部の巻に、初句索引がある。※貸出可

## ■Webサイト■

「二十一代集データベース(古典選集本文データベース)」 (国文学研究資料館)	古今和歌集から新続古今和歌集までの 21 種の勅撰和歌集のデータベース。詳細検索では歌番号・書名・部立・詞書・作者等から検索できる。 ( <a href="http://base1.nijl.ac.jp/infolib/meta_pub/G000150121dai">http://base1.nijl.ac.jp/infolib/meta_pub/G000150121dai</a> )
「和歌データベース」 (国際日本文化研究センター)	勅撰集 21 種すべて、万葉集をはじめ「夫木和歌集」などの私撰集と主要な私家集の和歌を収録。作品集成立年順・作者名順・作品名順・語句等から検索できる。 ( <a href="http://lapis.nichibun.ac.jp/waka/menu.html">http://lapis.nichibun.ac.jp/waka/menu.html</a> )

(参考資料)

・国立国会図書館リサーチ・ナビ(<https://rnavi.ndl.go.jp/jp/guides/literature/list.html>)の

『主題から調べる』—人文科学—言語・文学—「和歌・俳句を探す」「近世以前の和歌・俳句の意味を調べる」